

【九和】

大野・三反地

98 大野神社



石段と石垣が美しい。



大野神社は、延喜式神名帳「延長5年(927)」にまとめられた全国の神社一覧に記載された伊予24座、越智郡7社のうちの1社で延喜元年(901)に建立された。五十嵐の伊加奈志神社、古谷の多伎神社、八町の樟本神社、別宮の大山祇神社、日吉の姫坂神社、高橋の大須伎神社である。戦前は7社参りが盛んに行われていた。以前は、和霊神社、奈良原神社、また菊間のお瀧さんなど歩いてお参りする行事がよく行われていた。

99 玉川近代美術館



屋外に展示されている
朝倉響子作 SUMMER

〒794-0102
愛媛県今治市玉川町
大野甲86-4
電話/FAX 0898-55-2738
休館日 月曜日
開館時間 9時～17時
観覧料 一般500円

玉川町出身の故徳生忠常氏が全資金を提供して昭和61年に寄贈。藤田嗣治からアンディ・ウォーホルまで国内外の作家の作品380点余りが所蔵され、常時100点余りが展示されている。春と秋に約1ヵ月ずつ国宝伊予国奈良原山経塚出土品が公開される。小さいながら静かでゆっくり過ごせる美術館である。

100 三反地 河岸段丘



河岸段丘の一番上部は平地になっていて、水田がある。



丘の上から段丘を見下ろすと段々で下がっているのがわかる。

河岸段丘とは、山の谷間に雨や土砂が流れ込み平らな面ができ、川となり、水の力で深く掘り下げられる。地殻変動で土地が隆起、川の流れが速くなり、さらに侵食される。また隆起して段状になる。これが繰り返されて段々になる。こうして河岸段丘ができる。

三反地は、典型的な河岸段丘で蒼社川と大野川の浸食によって形成された。一番高地の上成(うわなる)と、丘の上なのに平地になっていて、見下ろすと蒼社川の流れまで何段にもなっているのがわかる。しかもここには水が流れていて、山の上なのに水田があるという不思議な土地となっている。水は、長谷の横山の一ノ瀬堰から引いており、機械力もない時代に高低差2.3mで水路はつくられているという。夜提灯を並べて目で見ても水平をとってつくついたらしい。セメントもない時代に苦労したに違いない。